



神に誓って

Khuda Kay Liye

TUFS Cinema とは……

東京外国語大学TUFS Cinemaは、映画を通じ、世界の諸地域における社会・歴史・文化の理解を深めることを目的としています。

今回のTUFS Cinema 南アジア映画特集では、ショエーブ・マンズール監督の『神に誓って』を上映します。

この映画をとおして「9.11」以降のパキスタン社会や南アジアのイスラームについてあらためて考えてみたいと思います。

上映日時 2023年

12月16日

14:00上映開始（開場13:30、終了予定17:30）【土】

場所 **東京外国語大学**

アゴラ・グローバル プロメテウス・ホール
(東京都府中市朝日町3-11-1、西武多摩川線「多磨」駅下車 徒歩5分)

プログラム

映画『神に誓って』本編上映 (168分)

上映後トーク

萬宮 健策

(東京外国語大学大学院総合国際学研究院教授)

主催 東京外国語大学 TUFS Cinema

協力 ShoMan Productions

岡口良子 藤井美佳

東京外国語大学南アジア研究センター

東京外国語大学多言語多文化共生センター

入場無料
事前登録制 ▶▶
(先着500名)



<https://sanda.tufs.ac.jp/event/tc231216form/>

※事前登録がなくてもご来場いただくことは可能ですが、会場入口で参加登録をしていただきますので、事前にご登録いただくとスムーズにご入場いただけます。定員を超える場合は、事前登録を済ませた方を優先させていただきます。

[お問合せ]
東京外国語大学 広報・社会連携課
(TUFS Cinema担当)

TEL 042-330-5441
(平日9:00-17:00)

詳細は TUFS Cinema ウェブサイトにて
<https://www.tufs.ac.jp/tufscinema/>



150th anniversary TUFS 東京外国語大学
1873 2023 建学150周年
記念事業

上映日

2023年12月16日(土) 14:00上映開始(13:30開場、17:30終了予定)

南アジア映画特集

神に誓って

監督 ショーブ・マンズール
出演 シャーン
イーマーン・アリー
ファワード・アフザル・ハーン

あらすじ

ロンドンに暮らす大学生マリアムは、恋人との結婚の前に、生まれて初めて父の故郷パキスタンを訪れる。古都ラホールでは、いとこのマンズールとサルマド兄弟がミュージシャンとして活躍していた。しかし弟は「音楽はイスラームの教えに反する」という原理主義指導者の言葉に傾き、やがて音楽を棄ててしまう。兄は弟を気遣いながらも音楽を究めるためアメリカへ留学。そんな折、9.11事件が起こった…。

2007年/パキスタン/168分/ウルドゥー語、英語、パンジャービー語、アラビア語、パシュト語/日本語字幕

原題: Khuda Kay Liye

受賞歴: 2008年アジアフォーカス・福岡国際映画祭福岡観客賞

上映後トーク

萬宮 健策 (まみや けんさく)

東京外国語大学大学院総合国際学研究院教授
1990年12月から2年間パキスタン国立スィンド大学に留学1998年4月から在パキスタン日本国大使館専門調査員
2005年から大阪外国語大学(当時)常勤講師を経て、2011年4月東京外国語大学着任。
専門は言語学(ウルドゥー語およびスィンディー語)



会場

東京外国語大学 アゴラ・グローバル プロメテウス・ホール
(東京都府中市朝日町3-11-1)

お問い合わせ

東京外国語大学 広報・社会連携課(TUFS Cinema担当)

TEL 042-330-5441(平日9:00~17:00)

[Email] tufscinema@tufs.ac.jp

[Facebook] @tufscinema.pr [X(Twitter)] @tufscinema

入場無料/事前登録制(先着500名)

<https://sanda.tufs.ac.jp/event/tc231216form/>



本作について

いわゆる『9.11』を境に、パキスタンを取り巻く情勢は大きく変化した。テロリストの隠れ家と言われ、世界に散らばるパキスタンからの移民やムスリム(イスラーム教徒)も、標的となった。本作品は、そのようなパキスタンが抱えるイスラームや、パキスタン移民をはじめとする社会問題を、一部、監督自身が経験した実話に基づく内容を含みつつ、世界に知らしめた作品である。本作品の公開後、監督自身も、過激派からの攻撃を避けるため、パキスタンから一時的に避難していた。同監督は、本作品を皮切りにすでに3本の映画を公開し、現在4作目の撮影中である。4作品のタイトルをつなげると、一つのメッセージになっている点、2作目以降の最初のダイアログが、その前の作品のタイトルで始まっている点にも、監督の強いこだわりが現れている。(萬宮健策)

交通アクセス



◆JR中央線「武蔵境」駅のりかえ 西武多摩川線「多磨」駅下車 徒歩5分(JR新宿駅から約40分)

◆京王電鉄「飛田給」駅北口より多磨駅行き京王バスにて約10分「東京外国語大学前」下車